



のとちょう 議会だより

発行：能登町議会 発行日：平成30年2月1日 編集：能登町議会広報編集特別委員会



久田和紙で卒業証書づくり（能都中学校）

第51号の内容

- 12月定例会議・・・・・・・・・・・・・・・・P 2-3
- 10月・11月会議・・・・・・・・・・・・P 4-5
- 12月定例会議一般質問・・・・・・・・P 6-12
- まちかどインタビュー・・・・・・・・P 13
- 12月定例会議の議案質疑・・・・・・・・P 14
- 常任委員会レポート・・・・・・・・P 15
- 議会活動と編集後記・・・・・・・・P 16

第51号

5億981万7千円 補正予算可決

6日～15日

●主な一般会計補正予算（すべての補正予算ではありません）

★総務費 174,941千円

人件費の調整、新統合庁舎整備費の駐車場舗装工事費など

★民生費 16,036千円

人件費の調整、私立認定こども園運営費など

★土木費 △62,086千円

人件費の調整、道路橋りょう新設改良事業費の組替調整による減額など

★公債費 354,757千円

地方債繰上償還金など

総額累計 167億7万9千円に。

平成29年第7回能登町議会12月定例会議が開催され、報告1件、今年度の補正予算（一般会計・特別会計）、条例改正を含む議案20件及び諮問2件、請願1件が提出された。議案は、各常任委員会審議を経て、最終日に全議案を可決、請願1件は継続審査となった。また、追加日程があり、議案1件が提出され、全会一致で可決した。議会議案として許可第2号副議長辞職の件、選挙第2号副議長の選挙についての2件を追加提出し、原案のとおり可決した。酒元法子氏の辞職を許可し、市濱等議員が副議長に当選された。12日には町政全般について7人が一般質問を行った。



市濱 等 副議長

- 報告第11号 専決処分
の報告について
専決9号損害賠償の額
の決定及び和解について
- 諮問2件 人権擁護委
員候補者の推薦について
久田 幸子氏（宇出津）
館 博之氏（瑞穂）
- 追加議案第107号
損害賠償の額の決定につ
いて
- 許可第2号 副議長辞
職の件
- 選挙第2号 副議長の
選挙
当選 市濱 等議員

皆さんの請願・陳情
請願の審査結果

継続審査

○請願第3号

「柳田地区コミュニテ
ィーセンター」の建設に
関する請願
(提出者)

柳田公民館長

新出 豊 他14名

(紹介議員)

國盛 孝昭

宮田 勝三

市濱 等

(請願の要旨)

柳田公民館は合併後、
事務所を移転しながら現
在は、柳田山村開発セン
ターの1階事務室を借用
し活動を行っています。
各種団体の生涯学習の活
動拠点として、「柳田地
区コミュニティーセンタ
ー」建設をお願いするも
のであります。
現在、藤つるから糸を
紡ぎ、衣を作る体験事業
を行っており、「藤の糸
伝承館（仮称）」との併
設も目指します。



公の施設の指定管理者の指定について

議案	案	指定管理者
議案第 102 号	公の施設の指定管理者の指定について（能登町農産物等直売所（鮭尾直売所））	鮭尾直売組合 代表 竹本 勝栄
議案第 103 号	公の施設の指定管理者の指定について（能登町特産物等直売所（桜峠直売所））	グループさくら日和 代表 松木 俊彦
議案第 104 号	公の施設の指定管理者の指定について（能登海洋深層水施設・能登町農林水産物加工開発センター）	株式会社 能登町ふれあい公社 代表取締役 持木 一茂
議案第 105 号	公の施設の指定管理者の指定について（九十九湾園地施設）	能登町観光協会 会長 干場 龍一
議案第 106 号	公の施設の指定管理者の指定について（まつなみキッズセンター）	あつふる 代表者 豊原 和代

指定期間については、議案第 102 号から議案第 105 号までが平成 30 年 4 月 1 日から平成 33 年 3 月 31 日。議案第 106 号は、平成 30 年 4 月 1 日から平成 35 年 3 月 31 日までです。

※指定管理者制度とは

自治体が住民の福祉増進を目的として設置した施設（「公の施設」）を民間事業者・団体等を指定して管理運営させる制度。

12月定例会議の審議結果

（賛否の分かれたもののみを掲載します）

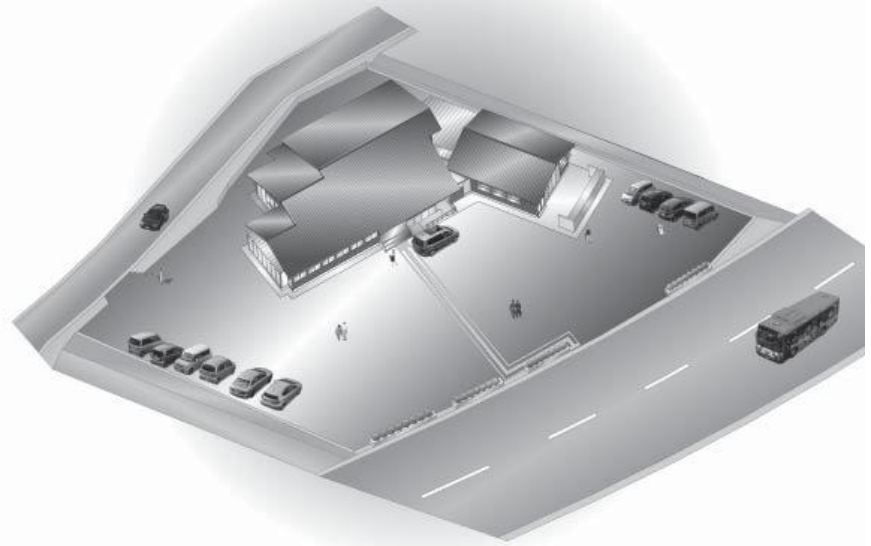
結果可否	議案	議員名														
		馬場等	田端雄市	金七祐太郎	國盛孝昭	市濱等	小路政敏	酒元法子	椿原安弘	河田信彰	南正晴	向峠茂人	志幸松栄	宮田勝三	鍛冶谷眞一	
可決	議案第 98 号	議会議員等の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
可決	議案第 99 号	常勤の特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
可決	議案第 100 号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

賛成○、反対×、－議長は採決に参加しません。

【10月会議】 19日

平成29年10月19日に第5回能登町議会10月会議が開会し、報告1件、請負契約締結に係る議案1件が提出された。議案1件は全体審議で行われ、全会一致で原案のとおり可決した。

また、9月定例会議において設置した決算特別委員会は、付託された平成28年度能登町一般会計歳入歳出決算及び各特別会計歳入歳出決算の認定13件について、10月4日～6日及び16日に慎重に審査した。その結果、同委員会の國盛孝昭委員長より全会一致で原案のとおり認定すべきものとの報告があり、採決では起立全員で原案のとおり認定した。



(小間生公民館イラスト)

○報告第10号 専決処分
の報告について（平成29
年度能登町一般会計補正
予算（第4号））
○議案第83号 請負契約
の締結について（平成29
年度能登町立小間生公民
館建設工事（建築））

○決算特別委員長報告（要旨） 國盛 孝昭 委員長 審査の過程で各委員から主な意見

- 一 町税及び各種負担金等の収納対策のひとつとして、コンビニ納付を検討中とのことだが、利便性や収納率の向上を図るために早期に導入されるよう調整されたい。
- 一 滞納については、滞納者の実態に応じて適切な措置を講じるとともに、一層の収納努力を図られたい。
- 一 ブルーベリー振興事業については、栽培農家とブルーベリー普及センター、製造販売会社の三者が密な連携を取り、栽培技術の向上や新製品の開発、販路拡大などを研究しブルーベリー振興をさらに強化されたい。
- 一 地域活性化推進事業では、地域のお祭りなどに学生の力を借りながら地域の活力向上を目指しているのだが、地方創生に資するため地域課題の解決策など学生側から意見や提案を報告書として提示してもらい、さらに懇談会が開けるよう働きかけて見てはどうか、検討されたい。
- 一 町民大運動会の開催については、先般3年ぶりに全競技が行われ成功裏の内にと終了したと聞く。しかしながら、公民館単位での大会参加は、地域の人口減少や高齢化も相まって参加者の選考が非常に厳しいとの声も聞く。本来の目的は地域の融和、一体感を持つことである。継続も力なりと言いが、人集めが負担になっている状況も踏まえ、開催していくか、取りやめるか、または、新しい方向性を見出すか熟慮されたい。
- 一 俗に縦割り行政とよく耳にするが、能登町においてもその傾向が垣間見ることが出来る。担当課を乗り越え、横のつながりを深めることで、各種申請に係る窓口業務などのサービス向上が図られる。町民目線でのニーズに応えられるよう機構改革の検討を含め、サービスの充実に取り組まされたい。
- 一 水道事業会計では、有収率は毎年の改良工事により少しずつ改善されているが、目標値90%に向けてさらなる改善に努力されたい。
- 一 病院事業会計については、外来患者が訪れる病棟では、手狭感がぬぐえない診察室や採血検査室などがあり、導線をリノベーションすることで新たな機能や価値を向上させてはどうか検討されたい。

【11月会議】
13日

新庁舎着工！総額 36 億 2800 万円

- 議案第 84 号 請負契約の締結について（平成 29 年度能登町新庁舎建設工事（建築））
- 議案第 85 号 請負契約の締結について（平成 29 年度能登町新庁舎建設工事（電気設備））
- 議案第 86 号 請負契約の締結について（平成 29 年度能登町新庁舎建設工事（機械設備））

平成 29 年 11 月 13 日に第 6 回能登町議会 11 月会議が開会し、請負契約締結に係る議案 3 件が提出された。議案 3 件は新庁舎建設に係る請負契約締結についてであり、全体審議で行われた。質疑では新庁舎建設に対して 5 人が質問した。審議の結果、全会一致で原案のとおり可決した。

問 鍛冶谷眞一議員

新庁舎の総額はどれだけになるのか。

答 総務課長

平成 26 年度から平成 32 年度までの約 6 年間の全体事業費総額は 36 億 2800 万円の現計画となっている。

問 榑原安弘議員

新庁舎の契約期間はいつからいつまでか。また、請負率を示してほしい。

答 総務課長

完成期日は平成 31 年 6 月 28 日として契約予定。請負率は、建築工事については 99.5%、電気設備については 90%。



左側の建物が新庁舎。右側が既存のコンサールのと。

0%、機械設備については 94.7%となっている。

問 田端雄市議員

新庁舎の総額は解ったが、宇出津分署、柳田総合支所、内浦総合支所の事業費を教えてください。

問 総務課長

完成した能登消防署と建設中の宇出津分署の 2 施設の総額は、約 16 億 400 万円として計画を進めている。柳田総合支所は 4 億 1500 万円、内浦総合支所は 7 億 8700 万円で現在計画している。

問 市濱等議員

指名審査委員長の副町長は入札時（11月2日）には不在だったが、どのような形で入札が執行されたのか。

答 監理課長

能登町建設工事指名競争入札参加者等選定要綱第 7 条第 3 項に「委員会の長は、副町長を持って、副町長不在の場合は総務課長がその職務を

代理する」ということになっていきますので、現在は総務課長が委員長を行っている。

問 志幸松栄議員

共同企業体で契約されているが、能登町の業者配分はどれくらいなのか教えてください。

答 監理課長

3 社の場合は 2 割以上ということまで義務づけられている。2 社は 3 割以上となっている。

町民の声を募集

議会傍聴しての感想や意見、町政や地域社会の発展に関心がある方のご意見など多くの町民の声を掲載させていただきます。まずは、議会事務局までご連絡をください。お待ちしております。

電話番号 6 2 - 8 5 4 0

いっばん質問

12月定例会議の一般質問（12日）

議員が、町の一般事務に対してその執行の状況または将来の方針、政策的提言や行政への批判などを執行者に直接質問することです。



田端 雄市 議員

問 五歳児健診の実施を求める

答 現状の取り組みが最も有効

問

難。三歳児健診で、要経過観察となった場合、保健師が保育士と連携し、情報の共有を行っている。また、療育の教室を月一回まつなみキッズセンターで実施している。

五歳児健診を実施している自治体が増えてきている。従来の一歳六か月と三歳児健診では軽度の発達障がいが発見が困難なためである。この期間の育児に対する不安を抱える保護者の支援体制を充実し、子育てに強みのある町としてアピールするためにも、五歳児健診を実施するべきと考えるが。

答 町長

五歳児健診には、医師、保健師、臨床心理士など専門のスタッフが必要となる。環境としては、困



1歳6か月健診

問 指定管理の運営を外部の視点で

答 制度に新たな申請条項を設ける考えはない

問

町の特色ともいえる施設の運営に質の充実と向上を図るとともに、本来の制度である事業の合理化と経費の節減を一層進めるため、外部機関の指導を受けられる体制にしたらどうか。

答 町長

指定管理者は、それぞれ労働基準法を遵守した労働条件が確保されている。また、労働基準監督署など公的機関による監視や指導、相談などにより処遇の改善も対応できていると考えている。



問 橋の架け替えや修繕計画を聞く

答 橋梁長寿命化計画に基づき

修繕を実施

問

老朽化が進んでいる橋が見受けられる。修繕に費用がかかると新聞などに出ていたが、町が管理している橋は、何本あるのか。橋梁長寿命化修繕計画は、策定されているのか。

答 町長

町管理の橋梁は304橋あり、50年以上経過した橋は33橋ある。平成21年に橋梁長寿命化修繕計画を作成しており、15m以上の29橋を対象として今年度までに15橋の予防

保全を行った。25年の道路法改正を受け26年7月

から道路管理者は全ての橋梁、トンネル等を5年に一度近接目視で点検し4段階に診断することになり、27年度から順次点検をしている。結果をもとに橋梁長寿命化計画の見直しを検討したい。

答 建設課長

橋梁の架け替えは多額な費用がかかる。国の予算を鑑みながら推進している。橋梁の補修にもいろいろ種類があるので、

通行に支障がある所で、軽微な修繕は現場確認のうえ早急に対応を考えているので、情報の提供を願いたい。

通行に支障がある所で、軽微な修繕は現場確認のうえ早急に対応を考えているので、情報の提供を願いたい。

問

農家の高齢化、減少が進んでおり耕作放棄地が増え集落の景観が変わってきている。圃場整備が進み担い手や営農法人への農地の集積化が進むが、水管理や草刈り等で受け手も限界に近いのではないのか。高齢化、人口減が避けられない集落の景観や維持管理について、行政として今後どのように支援、指導をされるのか。

答 町長

農家の高齢化、減少が進んでおり耕作放棄地が増え集落の景観が変わってきている。圃場整備が進み担い手や営農法人への農地の集積化が進むが、水管理や草刈り等で受け手も限界に近いのではないのか。高齢化、人口減が避けられない集落の景観や維持管理について、行政として今後どのように支援、指導をされるのか。

問 手の育成などにつながるかと考えている。

答 その他質問

ふるさと大使による観光客誘致について

ふるさと大使の方々の活動はどのようなものか。写真家、書道家などの方々自身のプロデュースした作品展を町の施設で開催すれば観光客の誘致につながるのではないかと。奥能登芸術祭を3年後に合同開催する考えは。

答 町長

作品展開催は交流人口の拡大につながる

6人の個人、2団体とイメージキャラクター1体でそれぞれに自身の特色を生かして町の広報活動、PRをしている。大使自身がプロデュースによる作品展を町の施設で開催し、中長期的な誘客を図ることは、交流人口の拡大、PRにつながると思う。芸術祭については、準備期間や予算もかかるので、今のところ考えていない。



南 正晴 議員



昨年、架け替えした小間生橋（主要地方道）

問 集落支援を聞く

答 多面的機能支払交付金の活用で住民の積極参加を望む

町としては、多面的機能支払交付金事業を活用し、営農を含めた農村環境保全の役割分担を推進したい。多面的機能支払交付金の活動を行っている組織も参加者数の減少が見込まれるが、地域内外の非農業者や女性も活動に積極的に参加いただきたい。農地周辺の草刈り、水路の泥上げなどの作業は、地域住民が中心となり、農地の内側の作業を担い手が行う役割分担が農村環境の保全、担

問 能登町の財政状況について

答 健全化判断比率は健全段階である



馬場 等 議員

問

平成28年度の決算によると、財政力指数が0.2と県内の市町では最悪であり、また、一人当たりの町債残高も約171万円と大変大きな金額である。このような能登町の財政状況について、どう考えているか。

答 町長

地方公共団体の財政状況を表す基準である健全化判断比率は、健全段階であるが、全国の中では下位30%に含まれることから、決してよいとは認識していない。

問 地方交付税の減少分の財源手当は

答 一般財源である

基金より繰入する

問

合併算定替えが終了したり、算定基礎人口の減少により、一般会計の歳入の半分を占める地方交付税が減額になります。この分の財源の手当はどうするのか。

答 町長

その減額を補う財源は同じく一般財源となります。財政調整基金繰入金しかない。財政の持続可能性を確保するためには、基金繰入れにできるだけ頼ることなく、歳入減に見合う歳出を削減しなければならぬと思っています。

問 その他質問

① 倍増が予測される投資的経費は

公共施設等の大規模改修が始まっています。維持管理費も含めると、今後40年間で直近の5年間の倍近くの経費がかかるかと予測されています。これから年々財政状況が厳しくなっていく中で、財源の手当はどのように行っていくのか。

答 町長

② 施設を縮小の方向に持っていく

財源の手当というよりも、施設を縮小の方向に持っていきたい。今後40年間で建築系公共施設の延べ床面積の総量50%削減を目標としたり、万一更新する場には、できるだけ合築か複合施設とす



経年している公共施設

ることで、住民サービスを維持しながら総量を抑制したい。その際には、住民の皆さんと情報を共有しながら進めていかなければならないと考えている。



榑原 安弘 議員

問 新年度予算の主要事業は

答 新庁舎の建設や
海洋研究センター整備など

問

新年度予算の主要事業について。

答 町長

ハード面では、新庁舎の建設や内浦・柳田総合支所建設関係の予算化、海洋教育研究センターの整備など。農業基盤整備では、県営ほ場整備事業の促進。道路網整備関係では、社会資本整備事業や地方創生道路整備交付金事業を進めたい。

ソフト面では、創生総合戦略や第2次総合計画に基づき、第1次産業の活性化や集落支援、定住促進や子育て支援などの具体的施策を取り入れた

問 職員の懲戒処分公表基準は

答 公表基準は速やかに整備したい

問

先般、新聞で職員の懲戒処分に関する公表基準を策定していない自治体が、県内で半数近く上ると掲載されており、当町も策定されていない町のひとつだが、今後はどのような方針か。

答 町長

今後は、人事院が定めた指針に基づき、整備したいと考えている。

職務に関連する非違行為に係る懲戒処分や職務

問 その他質問

能登町創生総合戦略の進捗状況は

能登町総合戦略を2019年までの5年間で4つの基本目標（戦略）を掲げたが、その進捗状況を聞く。

答 町長

概ね目標値に近い方向で推移している

戦略1の人材の育成と安定した雇用をつくるでは、農林水産業の目標値20人に対し27人となっている。

戦略2の人の交流を深め、賑わいを創出し人の

流れを作るでは、人口動態での社会増減の改善を数値目標の一つとしているが、2019年目標値マインス120人に向けて取り組んでいる。

戦略3の若い世代の希望に叶った環境対策では、縁結び隊を中心に目標婚姻数10組に対し10組となっている。

戦略4の地域の絆によるまちづくりでは、総合的に取り組み中である。



新庁舎窓口イメージ

問 寄贈品の取り扱いについて

答 各所管する課で管理し展示している



酒元 法子 議員

問

町へ寄贈された品について記録台帳が整備されていると思うが、現在、何件の寄贈で何点の品がどのように展示保管されているのか。

答 総務課長

寄贈品の内訳は、陶器・磁器・漆器・彫刻類・絵画・刀剣類その他と多種多様に渡りますが、所管する課が、備品台帳に登録し管理している。総数は、把握していない。

答 町長

新庁舎完成に併せて憩いの場、あるいはギャラリーということもあり、できるだけ多くの町民の

問 携帯電話とラジオ波 不感解消の取り組みについて

答 方策を再検討するとともに
事業者に働きかける

問

前回27年3月に携帯電話の受信状況の悪いところの改善を業者に働きかける。また、29年3月にラジオ波のクリアな受信

環境づくりを業者と相談していくと答弁されたがその後の取り組みについて聞きます。

答 町長

携帯電話については、当初不感地帯はないと認識していたが、子ども議会と同様の質問があり再確認した結果、3地区で不感地帯を確認した。補助活用だけでは解消は困難で、他の方法としてブースター設置と併せて再検討していく。地域住民の方々からも、事業者の不感地帯解消の声を届けてもらいたい。

ラジオ波については、

柳田・宇出津・松波の一部地区で難聴地帯を確認しNHKで調査改善を実施していく。民放ではワイドFMを利用して対策を行う。



寄贈品

みなさんに見る機会をつくりたいと考えている。

問 宇出津総合病院の改革について問う

答 石川県の地域医療構想を踏まえ
病院改革プランを策定し公表している



志幸 松栄 議員

問

新病院改革プランの概要と実施状況を求める。また、病院経営改善会議の中の看護師及び薬剤師の採用計画について、協議されたかを問う。

答 町長

新病院改革プランでは経営の効率化や再編。また、ネットワーク化や経営形態の見直し。さらに地域医療構想を踏まえた役割の明確化の四つの視点で取り組み、各指数の数値目標をホームページで公表している。また、実施状況では、評価委員会で審議し、結果を公表する。看護師・薬剤師の新



公立宇出津総合病院

陳代謝はしばらくは安定した人員を確保できるものと考えている。また、ほかの検査やリハビリなどに携わる技術職についても常に検討、協議しているところである。

問 職員の資質の向上について問う

答 職員研修会などに参加を促し、
個々の資質向上に努めている

問

職員として、町民の信頼と期待に応えるため、資質向上と高揚を図る方策について問う。

答 町長

自治大学校や県の市町支援課への派遣研修や自治研修センターの初任者研修等々、毎年100名を超える職員を派遣している。高齢化が進む当町の現状を考えると、高齢者への接遇マナーを心得て、相手の気持ちに沿った対応ができる職員だと考えている。

問 その他質問

四期目の持木町政の今後について問う

町民の意見を聞きながら、町政運営をどう進めていくか聞きたい。

答 町長

リーダーシップを発揮しながら能登町の行政を担っていきたく思います。わたしが、旧能都町時代の町長の時から町民のためになるかどうか、町のためになるかどうかで判断させていただき、これからもその気持ちは変わりませぬので、しっかりとリーダーシップを発揮しながら能登町の行政を担っていきたく思います。

問 鮮度保持・加工処理施設運営状況は

答 魚価の底上げにつながり
目的を達成している



宮田 勝三 議員

問 大漁時に安価で取引されていた魚種の魚価底上げにつなげる目的と出荷時期の調整や加工原料とするなど、漁業所得の向上を図る目的で整備されたものであると思う。加工処理については、産直加工場として、魚を素材から食材へと一次加工を行い、付加価値の向上を図り、漁業者への還元を期待して整備されたと考えるが、運営状況を聞く。

また、春先から不漁が続いたと聞くが、どのように補ってきたのか、行政の指導も必要と思われるが。

答 町長

鮮度保持施設においては、需要を上回る分を保管し流通を調整することができ、現在平均で約10%の魚価底上げにつながっており、漁業者所得の面では目的を達成している。

加工処理施設においても、不漁の影響で加工魚が少なくながら金沢や舞鶴、境港、大手食品会社マルハニチロなどの取引

先を開拓し販売努力を行っている。ブリのフィレや給食に向けての試作品の開発を進めており、将来的には能登町ブランドの開拓で魚の消費拡大を図ってまいりたい。不漁の補いについては、近隣の漁協支所からの受け入れで努力している。今後は、長期的視野で運営を見守る必要があると考えているので、理解いただきたい。



鮮度保持・加工処理施設

問 ほ場整備事業の状況と

協議会への支援策は

答 実施4地区・予定5地区で

推進体制強化を検討

問

日に日に荒廃地が増えていく今日、ほ場整備は喫緊の課題であるが、実施状況と今後の整備予定状況を聞く。

高齢の方が多い地区協議会への支援が重要である。現在、支援員が一人配置され、大変好評価を受けている。

しかしながら、事業完了に10年間も要するといわれる事業の早期完成を考えるならば、支援体制の強化をすべきと思われるが。

答 町長

事業の実施地区4地区整備予定は5地区となっており、県と協議を行い計画し

ていきたい。早期着手に向け、農林水産大臣に重要性を訴えてきた町としても事業の推進体制を増強するなど適切な指導のできる体制強化のための検討をしていきたいと考えているので、理解いただきたい。



整備された田んぼ

まちかど

インタビュー



小林さん夫妻

【小林 富子】さんです。今月は、中斉在住の能登に移住されて、十二年と聞きました、移住のきっかけは？

以前は愛知県一宮にいました。移住する30年前から能登には、さかな釣りに夫婦で来ていました。当時、和歌山にも出かけていて、どちらにするか考えました。決めたのは、さかな釣りに来て出会った能登の人達の人柄の良さでした。

移住して、12年経ちましたがやはり、人柄は良く、来てよかつたな、と改めて感じています。

普段の生活は、何をされていますか？

お父さんが魚の行商をしているので、その手伝いをしています。

いろんな人との出会いが楽しみです。この土地柄に溶け込んで、親戚づきあいをさせてもらっています。先日、お父さんが入院した時にも多くの人からお見舞いの声をかけられました。

いつも心掛けていることは？

縁があつて、柳田へ来たものと考えています。皆さんのため、自分のできることは、なんでもさせてもらうつもりでいる。皆が皆、そうだとは思わないが、こんな気持ちでいることを知ってもらおう。新しい移住者の受け入れにつながると思う。

さかな釣りの環境はどうですか？

私の友人たちは、金沢方面からさかな釣りに多く来ている。釣りの地元の規制が厳しく、入れなくなって困っている。地元での規制なので、オープンな受け入れが出来れば、もっと、交流人口が増えると思う。また、旅からの釣り客ももっと、マナーをしつかりすればと思うこともある。誰かが音頭を取れば、もっと良くなるかも……。

町に要望はありますか？

自宅は、珠洲道路沿いにある。大きい除雪機械が一気に寄せていくが、その後の自宅の出入りのための、雪寄せに困っている。老人が多くなっている。きめ細かい除雪を希望する。自宅前、交通量がものすごく多くなってきた。直線道路で、スピードも速い。怖い、という思いがしている。対応があれば、と思う。

管外視察報告 (佐賀県伊万里市・福岡県福津市)

教育厚生常任委員会

副委員長 田端雄市

平成29年10月24日から26日にかけて、当委員会、2件の研修視察を行った。

1件目は、佐賀県伊万里市の大川浄水場である。

浄水場の視察は、6月の管内視察により、本町の矢波浄水場が40数年を経過した施設として、いつ、不測の事態になるかもしれないという危機感からの思いであった。

上下水道課として、早期に事業着手を検討すべきことから、技術的また、新設後の維持管理など大いに参考とするところがあつたものと思う。

水は無料！という思いが恵まれた自然環境にいる日本にはあるが、安全な水の供給は、むしろ最も根本的な社会基盤として要求されるところである。

視察先の大川浄水場は、新たな水源として県営井出口川ダムの完成と合わせ、平成24年7月

に供用開始されたものである。説明担当者も数年の運用により、維持管理にも経験則が生かされているようであった。伊万里市では、他地区

施設の老朽化及び原水水質の悪化に対応するため、同じ高度浄水処理方式による更新で、平成29年度供用開始の事業にも取り組んでいる。

2件目は、福岡県福津市の宗像水光会総合病院を訪問した。ここでは、医療と介護、そしてリハビリテーションがどのよう

に地域に溶け込んでい

るかを学んだ。民間個人病院として出発。その後、要請に応じて介護施設やリハビリテーション施設などを充実させ、有料老人ホームに至り、さらに看護学校も併設している

という病院を中心に衛生機能を持つグループである。

質疑の中では、補助金

のない民間施設の運営の困難さとともに、町づくりと一緒に、地域とともに、の理念で取り組んできたことなど、説明を受けた。特に、傾聴に値するものとして、地域の医療機関との連携がある点、モニター制度により、地域の意見と動向などをキャッチする場を持っていること、月一度の院内教育と位置付けられたミーティングの実施があげられる。

その後、介護・リハビリテーション施設など、見学したが、それぞれの施設で働く職員の笑顔と対応が職員に対する企業の処遇の表れと感じられた。



宗像水光会総合病院にて



議案をチェック

12月定例会議の議案質疑

平成29年12月定例会議の議案質疑では、6名の議員から質問がありました。

主な質疑、答弁は次のとおり。

○鍛冶谷眞一 議員

補正予算の詳しい説明について

補正予算の新庁舎整備費について、詳しい説明を聞く。

○総務課長

工事請負費の増額は、取得した土地の舗装費。減額については、商工会の解体工事の執行残である。

公有財産購入費の増額は、駐車場用地の購入費である。補償費は、取得した土地の上にあった建物解体移転補償費である。

○鍛冶谷眞一 議員

今回の補正は11月会議で説明のあった本庁舎建設費の総額36億2800万円に含まれていると理解してよいか。

○総務課長

建設費総額に含めている。

○田端雄市 議員

新庁舎建設費の総額の確認について

新庁舎整備費について、追加計上のないように総額の確認をする。

○総務課長

基本構想、用地取得、補償費、本体工事、外構工事、工事監理費、備品購入、移転費の所要の経費全体で36億4500万円となる。

○南正晴 議員

農業振興事業の採択要件と補助率について

農業振興費、高品質化機械導入事業の採択要件と補助率は。

○農林水産課長

採択要件は、中山間地域または世界農業遺産地域で営農組織が農家3戸以上で構成される規約がある団体。補助率は40%。

○椿原安弘 議員

人事院勧告による補正額について

今回の人事院勧告による手当のアップ、当町における総額は。

○総務課長

一般会計、特別会計、給与改定分として全体で284万5000円の増

額となる。期末手当は1671万2000円の増額。

○椿原安弘 議員

共済費のアップ費用はどれだけか。

○総務課長

給料と手当を算出根拠としている。12月補正で1029万1000円追加している。

○馬場等 議員

勤勉手当とは何か

勤勉手当について、どのような趣旨で支給されているのか。

○総務課長

期末手当及び勤勉手当は、民間でいうボーナスに該当するもので、期末手当は在職期間、勤勉手当については勤務成績に応じて支給されるものです。

○小路政敏 議員

農林水産物加工開発センターの利用状況について

農林水産物加工開発センターの所在地、利用状況、商品開発の実績を聞

きます。

○ふるさと振興課長

所在地は字立壁にある。地域の特産品を生かした新しい商品を各々事業者が開発する補助的な施設である。主に海産物の商品化を手掛けている。過去に骨まで食べられる魚なども開発している。

「イノシシ解体処理施設とその運営状況を訪ねる(鳥取県南部町)」

まち・ひと・しごと創生特別員会委員長

椿原安弘

管外視察報告(平成29年11月14日~16日)

イノシシ対策の先進地である、鳥取県南部町に全委員で視察研修を行いました。

町の人口は1万1千人で、鳥取県西部端に位置し、島根県との県境である。総面積は114平方

kmで南部は中山間地域、北部は水田地帯となっている。様々な命を育む豊かな里地里山を次世代に残していくべき自然環境の一つであると位置付け

環境省の「重要里地里山500選に南部町全域が選ばれている。

イノシシ対策については、捕獲数は平成21年度で88頭が平成28年度に640頭と急激に増加し、捕獲した獣肉を有効に活用するため、平成23年度に国の補助を受けて解体処理施設を設置した。

施設は33㎡と小さなものであるが、現在年間80頭の処理を行っている。管理・運営は町の直営であるが町出資の株式会社(緑水園)に通年貸出している。獣肉は緑水園が買取し、解体・精肉・販売を行っている

ハンターが血抜きして施設まで持ち込みしている。但し、ウリ坊(30kg以下)は買取しない。解体は3名の作業員で行っている。

今後の課題としては、獣肉の販路の確保やジビエ料理の支援制度で獣肉の消費推進策を講じる必要があるとのことであった。

総務産業建設委員会

椿原安弘(委員長)
市濱等(副委員長)
馬場等・國盛孝昭
酒元法子・河田信彰
宮田勝三

ために人件費が大きくなっているが、行革で組織改革を計画し人員削減も計画している。

新庁舎の総費用は。

今回の駐車場舗装を追加して36億4500万円です。

総合支所整備費で実施する債務負担行為の内容は。

柳田総合支所の実施設計、要望としてエレベーターの設置。松波の福祉センターの解体についての実施設計です。

●条例の一部改正
任期付職員について説明を。

任期付職員の種類としては、特定任期付職員で弁護士などの専門的な方、3条の任期付職員は、コンピュータに精通している方、短時間勤務職員は、医師を想定しているものです。

●一般会計予算
人事院勧告があったからと職員給与を上げる理由がわからない。
公務員は、労働権が制限され争議権等を担保するもの。職員給与は、条例で規定する。当町の人件費は、類似団体と比較して低く、国平均でも大きくない。職員数が多い



教育厚生委員会

金七祐太郎(委員長)
田端雄市(副委員長)
小路政敏・南 正晴
向峠茂人・志幸松栄
鍛冶谷眞一

配食サービスが増額となっているが利用が増えているのか。

当初は2万1500食と見込んでいたが、月に300食増えている状況で、3万1000食となる見込みです。

●ドブネの修理はどこにしようのか。

奈良県の公益財団法人元興寺文化財研究所です。国指定文化財ですので、文科省の担当官の指導を受けながら、船の修理を行う。

入院患者が減り、外来患者が増えたとのこと。

4月から内科、小児科、耳鼻咽喉科の常勤医師3名が増えたことによる外来患者の増と考えている。

目標枚数は設定していない。今後、設定していきたい。11月末現在の割合は、能登町では8.6%で国全体で9.4%、石川県では7.3%という状況です。

●柳田地区コミュニティセンターの建設に関する請願
(委員からの意見)
①開発センターを利用して公民館活動をしている。十分に機能していると思うがコミュニティセンターの建設をも望んでいるので、総務産業建設委員会との調整も必要。
②今後、建設予定の総合支所との関連もあるので、3月までに検討した方がいい。
③今までの利用状況も踏まえ、早急な結論は難しいと思える。
④みなさんの連名の請願なので、住民からの要望とあらば、採択すべき。ただし、実行すべきかは計画を精査し執行部が判断すべき。

10月から12月の主な議会活動

- 10月4日 決算特別委員会（～16日）
- 10月12日 石川県町村議会議長会臨時総会（～13日）・地場産業センター
- 10月19日 議会運営委員会・全員協議会・第5回能登町議会10月会議
- 10月20日 広報編集特別委員会
- 10月24日 教育厚生常任委員会管外視察研修（～26日）・佐賀県・福岡県
- 10月28日 流山市民まつり（～29日）
- 11月1日 議会運営委員会・川北町議会運営委員会受け入れ
- 11月13日 議会運営委員会・全員協議会・第6回能登町議会11月会議
- 11月14日 まち・ひと・しごと創生特別委員会管外視察（～16日）鳥取県
- 11月20日 全国議長大会（～22日）
- 11月27日 石川県町村議会議長会
- 11月28日 議会運営委員会
- 12月1日 全員協議会
- 12月6日 第7回能登町議会12月定例会議（議案上程）
- 12月7日 各常任委員会
- 12月12日 第7回能登町議会12月定例会議（一般質問）
- 12月15日 第7回能登町議会12月定例会議（採決）
- 12月20日 奥能登市町議会議長連絡協議会

次の定例会議は3月6日開会です。

議会の日程については、決定しだい町のホームページ、または有線テレビでお知らせしています。
ぜひ傍聴にお越しください。議場が平成27年3月より能都庁舎に変わっております。ご意見など
ありましたら、下記事務局へご連絡ください。

編集後記

新年、おめでとうございます！
広報がより皆様に、身近なもの
となりますよう委員会一同、さら
に精進してまいります。

今回から、町民の皆様の声を誌
面にのせることとしました。声を
拾い、声を映せる行政に！との思
いです。

また、ページ数も多くなりました。
一般質問は登壇者が七人と増え、
さらに誌面の充実も期していきま
す。

議会改革は、広報からの思い
で、今年も精進して参ります。

委員 田端雄市

広報編集 特別委員会

委員長 田端 雄市
副委員長 市濱 等
委員 員 小路 政敏
酒元 法子
椿原 安弘
鍛冶谷眞一